



3F ギャラリーステラよりお知らせ

聖フランシスコ関連のフェアを開催します

フランキンセンス+ショップフェア

7月8日(金)～31日(日)

聖フランシスコをイメージした雑貨ショップ

「FRANKINCENSE+SHOP」

のフェアをギャラリーステラにて開催。

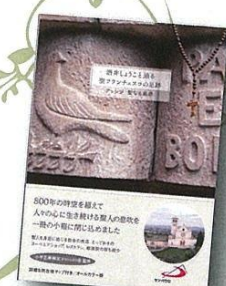
また、二十年の歳月をかけた藤城清治の大作『アッジの聖フランシスコ』(女子パウロ会)を販売いたします。



フランキンセンス
オイル
1900円



修道士
ワインカバー
3800円



『天使園 祈り、働けの日々』原画展

8月5日(金)～21日(日)

いまから50数年前、祈りと労働の修道生活を描いたスケッチ集、「天使園 祈り、働けの日々」の原画展を開催します。

「禁域」と呼ばれる囲いの中で、「祈り、働け」の生活を実践していた修道生活の様子を、修道女自ら描いたスケッチの数々。



Fair

店内では各種フェアが好評開催中です。

- ・キリスト教本屋大賞フェア
- ・新来者フェア
- ・C.S. ルイス & J.R.R. トールキンフェア
- ・修道院フェア
- ・聖書物語フェア

Twitter

ツイッターにて、おすすめの新刊やコーナー、フェア紹介などを随時更新しております。

教文館キリスト教書部
(@kyobun3f)



教文館ニュース

2016年
7月10日号
〒104-0061
東京都中央区
銀座4-5-1
教文館
キリスト教書部
TEL 03-
3561-8448



今月のおすすめ

『改革派正統主義の神学』

スコラ的方法論と歴史的展開』

W・J・ファン・アッセルト：編

青木 義紀・訳・教文館

定価4212円・A5判・333頁

17世紀の正統主義神学は宗教改革からの「逸脱」なのか？

それとも「成熟」なのか？後・宗教改革期の改革派神学の方法論と

歴史、そして主要な神学者を概観。現代にまで影響を及ぼす正統主義

時代の神学的・霊的遺産を学ぶ入門書の決定版。



『がん哲学外来で処方箋を

カフェと出会った24人』

樋野興夫 編著・日本キリスト教団出版局

定価1620円・B6判・158頁

がん専門の病理医である著者が提唱した「がん哲学外来」。

医療現場と患者さんのすきまを埋める試みであるメディカルカフェと

出会った24人が受けた処方箋。



6月のベストセラー TOP 10

- 1 「アッジの聖フランシスコ」女子パウロ会 / 藤城清治
- 2 「人権思想とキリスト教」 教文館 / 森島豊
- 3 「キリスト教資料集」 日本基督教団出版局 / 富田正樹
- 4 「1年で聖書を読破する」 いのちのことば社 / 鈴木崇臣
- 5 「あの時から空がかわった」 いのちのことば社 / 星野富弘
- 6 「幸せはあなたの心が決める」 PHP 研究所 / 渡辺和子
- 7 「説教への道」 日本基督教団出版局 / 加藤常昭
- 8 「求道者伝道テキスト」 地引網出版 / 鈴木崇臣
- 9 「信じることをためらっている人へ」 新教出版社 / 岡野昌雄
- 10 「メディアにむしばまれる子どもたち」 教文館 / 田澤雄作

来年は宗教改革500周年!



プレイモビル
マルティン・ルター
2700円(税込)



2017年は宗教改革から
500年の年。
教文館では
ルター関連書、ルターグッズ、
また宗教改革についての本を集めた
コーナーを設けております。



新刊案内

「生きるユダヤ教」

カタチにならないものの強さ

勝又 悦子 勝又 直也 著

定価2500円・四六判・350頁

教文館

歴史の中で幾度も存亡の機を乗り越えてきたユダヤ人。彼らを支えたユダヤ教の教えや葬想法から、この世を力強く生き抜く知恵を体得する。歴史・実践の基礎知識を押さえつつ、賢者たちの生涯に触れ、聖典や典礼詩のテクストを実際に味わうことで、奥深いユダヤ教の諸相を学ぶ新しい入門書。

「キリスト教における死と葬儀」

現代の日本的靈性との出逢い

石居 基夫 著

定価1944円・B6判・244頁

キリスト新聞社

「季刊『Ministry (ミニストリー)』第7号の特集「みんなで葬儀!」と「本のひろば」特別号「私たちの死と葬儀」などを中心に単行本化。

キリスト教の死の理解、葬儀の意味などを明らかにしつつ、実践的、教会的な視点をもった、看取りや悼み、死の準備教育など、著者が「数十年にわたって取り組んできたこと」をまとめる。

作家・天童荒太氏との対談「『悼む人』と十字架の神学」も収録。

「ガラテヤの信徒への手紙を読もう」

自由と愛の手紙

船本 弘毅 著

定価1620円・B6判・162頁

日本キリスト教団出版局

ルターが愛したガラテヤ書を、現代を生きる私たちはどう読むのか。

ガラテヤ地方(現在のトルコ)の教会に起きていた問題に対して、使徒パウロが福音に立ち帰るよう、愛をもつて熱く語った書簡。パウロの語る、イエス・キリストに結ばれて救われ、愛によって互いに任せ自由を得た者の生き方が、今を生きる私たちキリスト者の生き方を導く。

「世界がぶつかる音がする」

サーバンツの物語

クリスティン・ジャック 編 永井みきわ 訳

定価1404円・四六判・304頁・ヨバル

私たちはただ単純に、キリストのように生きたかった! アジアの貧しい地域に移り住んで支援活動等を実践しながら生活しているクリスチャンたちのネットワーク、サーバンツ。出会った人々と共に、イエス・キリストの希望を見出し、社会的な問題に向き合っている。その働きを担ってきた人々による多様な証言の記録。